

これまで最大の国際クルーズ船が名瀬港に寄港 ～ノルウェー ジャン ジュエル 93,502ト～

令和5年10月26日
奄美海上保安部



奄美群島日本復帰
70周年

10月26日、奄美大島の名瀬港にこれまで最大の国際クルーズ船が寄港しました。寄港したのは、ノルウェー ジャン ジュエル(バハマ船籍、93,502ト)で、11時に前寄港地の長崎県の佐世保から名瀬港観光船岸壁に着岸、乗客約2,300人が奄美大島の美しい自然や文化を楽しみ、19時過ぎには次の寄港地の那覇に向けて出港しました。ユネスコの世界自然遺産の奄美大島では、今後、島外からの観光客の増加が見込まれます。奄美海上保安部は、住民と来島者が安心して安全に奄美群島の豊かで美しい自然を楽しめるように、マリンレジャーなどによる海の事故防止に努めます。



ノルウェージャンジュエル

巡視船「かいもん」